



御浜町

第6次総合計画

後期基本計画策定のための

# まちづくりワークショップ

令和6年10月5日（土）

## 1. ワークショップの目的

～みんなで話そう。みはまのまちづくりのこと。～

御浜町では、令和3年度にスタートを切った第6次御浜町総合計画の中間見直しを行っています。

そこで、令和8年度から令和12年度の5年間のまちづくりを進めるにあたり、どういったことがこれからの御浜町に必要なか、みなさまの想いや意見を出し話し合う、まちづくりワークショップを開催し、まちづくりの推進へ役立てることを目的としています。

## 2. 意見交換のテーマについて

参加のみなさまは、4つの班に分かれていただきます。

テーマは、以下の2つとなっています。

テーマ1つずつ、みなさまの想いや意見を出し、話し合ってください。

（今回の意見交換のテーマ）

- ① まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて
- ② 今、直面する解決の急がれる課題について

### 3. ワークショップとは

#### ■「ワークショップ」という言葉をご存知でしょうか？

「ワークショップ」とは、参加者が共同作業の中で知恵を出し合い、手を動かしてある成果を創造する集まりのことです。

普通の会議では、議長が議事を進行し、参加者が意見を述べて、多数決を取って…というふうに行進しますが、「ワークショップ」では、すべての参加者が自由な雰囲気の中で部会ごとにポストイットカードを使って意見を出し、行政の各担当者が作成した検討素案を住民参画のもとまとめあげること目標としています。

「ワークショップ」の成果は、参加者自身と行政が協働してつくった「総合計画」として、あるいは、皆さんの心の中に「まちづくりの種」として残り、後々のまちづくりへとつながることが期待されます。

#### ■「ワークショップ」参加の心得：より実り多いものにするために。

普段のままで、「自分の言葉」で参加者の皆さんと語ってみましょう。

ほかの参加者の意見は「否定」するのではなく、発展させるような+αの意見を出してみてください。

お子さんやお孫さんが、将来どんなまちに住んでほしいか想像してみてください。

1. 批判や否定はしない
2. 質より量を重要視する
3. 変わったアイデアを歓迎する
4. アイデアをまとめる

#### ■日頃の思いで自由にご意見を出してください。お手元の資料は参考程度に。

各班のテーブルには「第6次御浜町総合計画」があります。これまでのまちづくりはこの計画を中心に進められてきました。

「今やっている事業を知らない」、「どんな課題があるのかわからない」など、ご不明な点もあろうかと思いますが、みなさまご自身の感覚で、普段お考えのご自分の意見や、以前に周りの人から言われた意見など、率直なご意見をお書きください。

お手元の資料は、あくまでも参考程度にご活用ください。

#### ■「ワークショップ」の進め方

難しいことはありません。普段のままで、「自分の言葉」で参加者の皆さんと語ってみましょう。

①テーマについて、自分の想いや意見など思い付いたことを、どどんたくさん付箋紙に書いて貼っていきましょう。

★日常生活で感じていること、など  
(人・環境・制度など)

★他自治体(報道から知ったことでも可)と比較して感じること、など

②意見を出しながら、同類の意見を枠で囲むなどグルーピングしましょう。

③各班での代表意見について、活かす方法や解決する方法などについてアイデアを出し合い、まとめましょう。

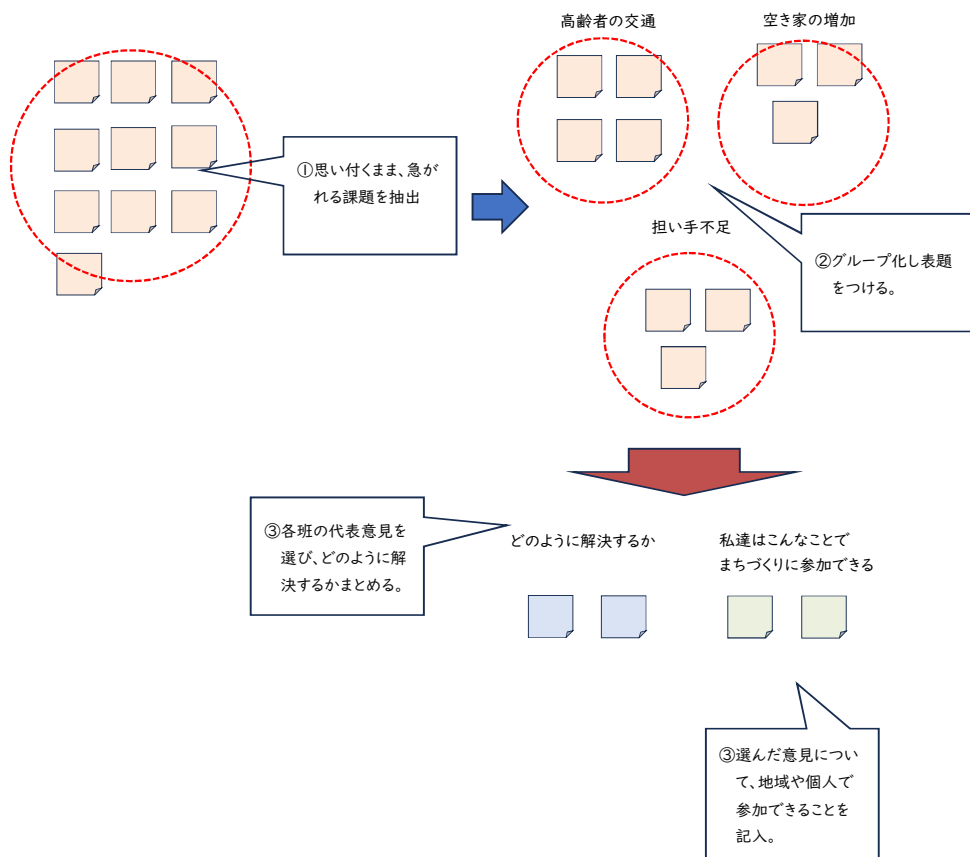
★1 ALL 御浜での取り組みについて、付箋に書いてください。

★2 「私達はこんなことでまちづくりに参加できる」など、地域や個人で出来ることを、付箋に書いてください。

④各班の発表

## ～みんなで話そう。みはまのまちづくりのこと。～

テーマ②今、直面する解決の急がれる課題について



## 3. 総合計画とは

### (1) 総合計画の役割

「総合計画」は、すべての分野における行政運営の基本となる地方自治体の“最上位計画”で、今後の本町のまちづくりの基本的な方向性を示すものです。

#### ■役割1 まちづくりの共通目標

本計画は、本町のまちづくりの方向性と必要な施策をわかりやすく示し、住民一人ひとりがまちづくりに主体的に参画、協働するための共通目標となります。

#### ■役割2 行政運営の総合指針

本計画は、本町が持続可能な町の実現に向けて、様々な施策や事業を総合的かつ計画的に推進し、効果的な行政運営を進めるための指針となります。

#### ■役割3 まちづくりの主張

本計画は、国や県、周辺自治体等に対して、本町のまちづくりの方向性を明らかにし、町内外に向けて発信していくとともに、必要な施策や事業を調整、反映させていく連携の基礎となります。

### (2) 総合計画の構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成されています。

#### ■ 基本構想

基本構想は、今後の新しいまちづくりの基本理念と本町の目指すべき将来像を定め、それを実現するための基本目標と施策の方向性を示すものです。

#### ■ 基本計画

基本計画は、基本構想に基づき、その実現を図るために必要な主要施策等を体系的に示すものです。

#### ■ 実施計画

実施計画は、基本計画に示した施策を、具体的に実施する事業を定めるものであり、事業の優先順位や具体的な事業内容、財源等を示すことにより、予算編成の指針となるものです。

第6次御浜町総合計画の構成と期間

総合計画の構成	計画期間										
	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
基本構想	10年										
基本計画	前期5年					(見直し)	後期5年				
実施計画	3年			(毎年度見直し)							

### (3) 第6次総合計画 基本理念など

#### ■ 基本理念

##### 基本理念

私たちみんなが、町への誇りと愛着を大切にし、  
私たちみんなが、主体となって進めるまちづくり

#### ■ 将来像

##### 将来像

一人ひとりが、幸せを実感し、「みはま」らしく輝くまち

##### 幸せを実感し…

経済的な豊かさ、健康、子育て、人とのつながり、平穏な暮らしなど、それぞれが描く幸福を実感できるまち。

##### 「みはま」らしく輝く…

田舎の小さな町、のんびりした人が多い町、みかんの町、自然豊かな町、住みやすい町、犯罪や災害の少ない町、食べ物がおいしい町など、これらすべてを「みはまらしさ」ととらえ、この町に誇りを持ち、みんなが輝いているまち。

#### ■ 大切にする価値観

将来像を具現化するためには、住民、企業・団体、行政のそれぞれが、以下の価値観を念頭におきながら、地域の課題解決を図っていくことが大切としています。

##### ①健康・安心

一人ひとりが、心身ともに健やかな状態で、老若男女、誰もが互いに尊重し、助け合いながら安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。

##### ②自立・協働

一人ひとりが、自ら行動し、人と人とのつながりを深め、みんなで支え合う地域社会を形成し、住民と行政が一体となったまちづくりの実現を目指します。

##### ③活力・挑戦

一人ひとりの豊かな暮らしがあり続けるよう活力に満ちた地域経済を実現するとともに、すべての人が自己実現に向けた挑戦ができるまちづくりの実現を目指します。

### 4. まちづくりワークショップのタイムスケジュール

日時：10月5日（土） 14時00分～16時00分程度

場所：くろしおホール

	(概ねのタイムスケジュール)
1 開会あいさつ	14:00
2 ガイダンス ・ワークショップの目的と実施方法の説明 ・ファシリテーターの紹介 ・総合計画について。まちづくりアンケート調査について	14:05
3 アイスブレイク ・自己紹介 ・リーダー、サブリーダーの決定	14:15
4 ワークショップ① ○まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて ○各班のまとめ ○発表	14:20 14:50
5 ワークショップ② ○今、直面する解決の急がれる課題について ○各班のまとめ ○発表	15:10 15:40
6 総括	16:00
7 閉会	16:10 (予定)

※本ワークショップでは、トイレ休憩等のお時間は設定していませんので、各自のタイミングでご休憩いただきますようお願いいたします。